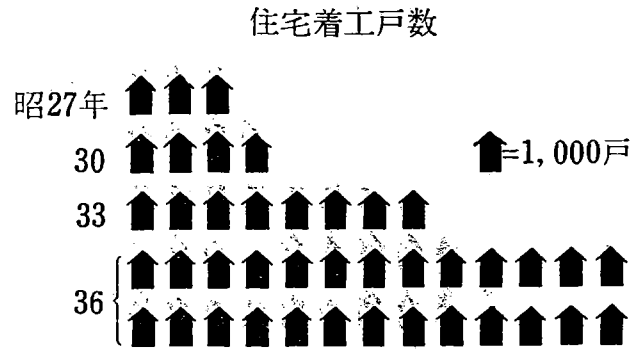


45. 住宅着工状況

戦災後住宅の再建はめざましく年々その着工戸数は増加し、昭和36年には2万6千戸が着工され30年に比較すると6.3倍の増加である。しかし本県は人口の増加が著しくまだ当分住宅の不足がつづくものと思われる。

着工住宅を種類別に分けると93%が専用住宅でついで商店等の併用住宅、その他の住宅の順となり、利用別では35年までは持家がいちばん多かったが36年に至り貸家が1位となった。これは住宅公団住宅、公営住宅および法人、個人の貸家などが国電沿線地区市町村に建築されたことが大きな原因であると思われる。



年	総 数		住 宅 の 種 類			
	戸 数	延 面 積	専 用 住 宅		併 用 住 宅	
	戸 数	延 面 積	戸 数	延 面 積	戸 数	延 面 積
昭和 27 年	3 091	159 399	2 233	103 128	849	55 484
28	3 342	179 677	2 494	117 934	844	61 540
29	3 896	197 340	3 252	150 678	644	46 661
30	4 195	221 651	3 357	159 402	829	61 918
31	7 059	368 197	5 577	258 600	1 468	108 368
32	9 571	475 706	8 217	372 685	1 353	102 929
33	8 371	410 017	7 188	311 817	1 183	98 200
34	10 775	516 559	9 561	412 566	1 214	103 993
35 1)	17 104	808 615	15 499	664 628	1 605	143 987
36 1)	26 440	1 252 470	24 586	1 057 170	1 854	195 300
			利用 関 係 別 戸 数			
	その他の住宅		持 家	貸 家	給与住宅	その他
	戸 数	延 面 積				
昭和 27 年	9	787	2 552	414	91	34
28	4	202	2 974	180	94	94
29	—	—	2 981	610	215	90
30	9	331	3 184	512	381	118
31	14	1 229	5 038	1 091	442	488
32	1	93	5 376	1 564	767	1 864
33	—	—	5 337	1 985	628	421
34	—	—	5 946	3 469	843	517
35 1)	—	—	8 100	6 856	1 161	987
36 1)	—	—	9 679	14 086	2 196	479

建築課調 (注) 1) の延面積は床面積である。